

執筆者紹介

| | |
|------|---------------|
| 趙建民 | 復旦大学歴史学系 |
| 後藤重巳 | 別府大学文学部教授 |
| 橘昌信 | 別府大学文学部教授 |
| 坂田邦洋 | 別府大学文学部助教授 |
| 山本晴樹 | 別府大学文学部助教授 |
| 利光正文 | 別府大学文学部助教授 |
| 森猛 | 別府大学文学部講師 |
| 荒川良治 | 佛教大学大学院修士課程在学 |
| 中村仁 | 別府大学文学部史学科卒業生 |
| 植野治代 | 〃 |

▼編集後記▼

中国の重点大学の一つ上海の復旦大学と別府大学が研究交流校の締結をするに先だち、復旦大学の趙建民先生より中日交渉史に関する大変興味深い論文を寄稿いただいた。復旦大学との提携は、史学研究会会長の賀川光夫学長がここ数年来尽力されての結果である。両校の留学生交換も近い将来実現される見通しとなっており、学問・研究を通じての国際化も間近い。

さて、十八号は非常に盛りだくさんの内容となり、近來になく充実した号となった。御投稿された方に謝意を申し上げます。

ところで、別府大学文学部史学科を中心として新研究棟が今年十一月に完成する。これを機に、『史学論叢』のより一層の内容充実を図りたいと思う。次号も本号同様、たくさんの方々よりの御投稿を切に期待する。